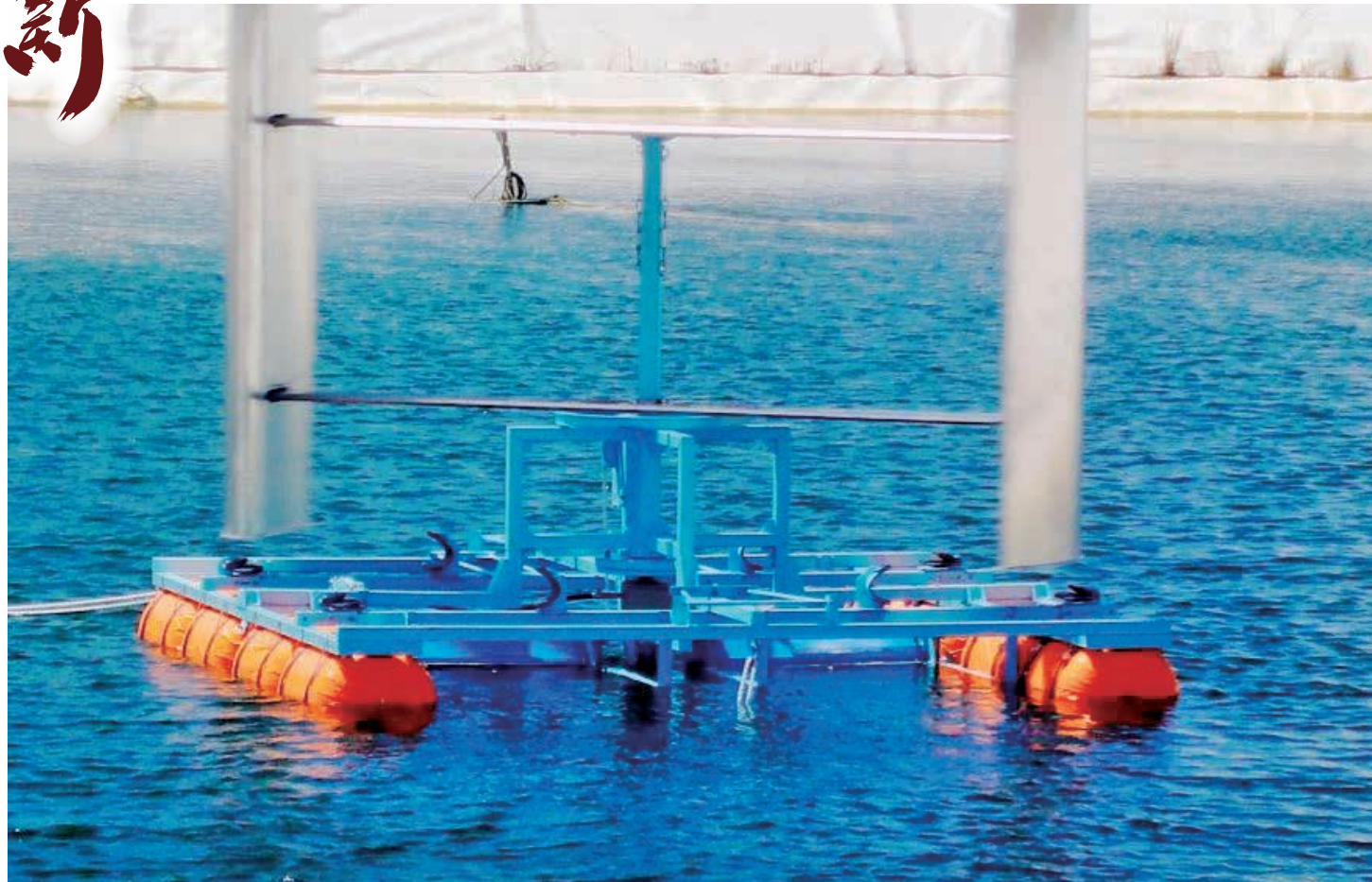


株式会社ロボテック

平成 25 年度 補正予算事業

用水ため池用水質浄化装置の ローコスト化の研究

離島における農業用水ため池は整備が進んでいるが、維持管理が多面で水質低下も著しいことから、その事業効果が発揮されていない。そこで、再生可能エネルギーを利用し、ローコストで維持管理が容易な省エネの農業用水ため池水質浄化装置を開発する。



水質浄化装置 1 号機

事業のきっかけと目的

Motivation

TPP問題や地球温暖化による天候不順等により、農家を取り巻く状況は大変厳しい。一方、奄美群島各島の多数のため池は、近年の異常気象の影響による水質低下等により、本来の効果を発揮できず、浄化にも多額の費用がかかる。この現状を踏まえ、風力を利用した低価格・省エネ・ローコストの水質浄化装置を研究開発し、環境と農家にやさしい装置を提供する。

事業の取り組み内容と成果

Progress

風力という再生可能エネルギーを利用した低価格で省エネ、維持管理のしやすいローコストの水質浄化装置の開発を実施した。今後は、装置の稼働状況やその風況データの収集・分析を行い、さらに改良を加えて、環境や農家にやさしい装置を提供していきたい。

株式会社ロボテックの思い



農家を取り巻く状況は近年の地球温暖化などの天候不順により大変厳しい状況にあります。農業生産コストのなお一層の削減が求められています。鹿児島県本土、離島における農業用水ため池の整備は進んでいるが、地球温暖化により、アオコや藻類が発生し、利用者から「臭い、汚い」などの声が多数あり、その利用実態は事業の効果を発揮できない状況にあります。そこで、無限の風力エネルギーを利用した「省エネで低価格、ローコストの水質浄化装置」を研究開発し、提供していきたいです。



工場内組立状況



現場搬出状況



ため池循環水流図

事業化に向けての今後の取り組み

Future

本事業によるため池の水質浄化装置の稼働から一年が経ち、その成果が注目視されていたが、そのデータの改善が見られたことは、今後の事業化の励みになった。今後は、「省エネで低価格、ローコストの水質浄化装置」を利用者側の目線に立て、さらなる省エネ（高効率化）、低価格（構造のシンプル化）、維持管理を容易にするための装置（台風対策：ロープ遠隔操作によるブレード可倒装置など）や、耐久性に力点を置き、トータルローコスト化を図り、地球環境や利用者にやさしい装置を提供し、普及拡大を図りたい。



企業の生い立ち

与論町出身の当社社長は、埼玉で産業用ロボット関連会社を起業し、産業用ロボット制御装置、周辺機器を国内外に納入する会社の会長でもある。事業拡大に伴い、故郷の与論町企業誘致による支援をうけ、平成24年11月に与論町の新工場で操業を開始した。ロボット関連の通常業務をこなしながら、地元貢献ができる会社を目指すべく頑張っている。



会社外観

事業者 株式会社ロボテック
代表者 山喜 義則
設立年月日 平成23年12月1日
所在地等 〒891-9301
大島郡与論町茶花1891-1
TEL 0997-97-0010
FAX 0997-97-0011
E-mail robotechyoron-kensei@canvas.ocn.ne.jp

事業の種類 ものづくり技術
資本金額 500万円
従業員 4名
業種 一般機械器具製造業